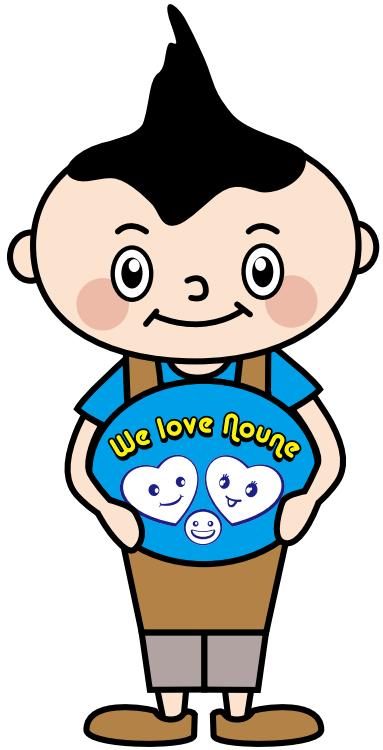


のうね Noune+^{PLUS}

人と地域をつなぐ情報誌

春号



い
り
推
進
協
議
会

CONTENTS

- 特集一まち協10年のあゆみ…P.2~5
- トピックス…P.6
- 歴史の場所を歩く⑨…P.7



表紙のイラストは
のうねの郷づくり推進協議会の
オリジナルキャラクター『さとちゃん』
詳しくは最終ページをご覧ください

まちづくり協議会の誕生

平成19年7月17日(火)、

のうねの郷づくり推進協議会が誕生して10年がたちました。
その10年間のあゆみをダイジェストで振り返ります。

のうねの郷づくり推進協議会設立
協働のまちづくり本格始動！

のうねの郷
まちづくり特集号

長歛の人口
男 2,961名
女 3,222名
世帯数 1,804世帯
(H19.8.1現在)

■基本理念
地域の特性を活かし
地域住民みんなで取り組むまちづくり

■時代の背景
●国・市町村合併
●少子高齢化
●安全安心の確保
●自然災害への対応
●地域の連携

■長歛地区の特性
●みどり豊かな自然
森林・田・川
ほたるの宿の里
せせらぎのみち
その他の
●文化財
總本天皇ゆかりの地
黒原寺跡
長歛日向神楽
その他の

■基本目標(スローガン)

●あんしんパトロール
毎週木曜日に長歛地区内を巡回

●あんしんマップ作り

■平成19年（2007年）

- 7月 のうねの郷づくり推進協議会を設立
- 9月 ホームページ作成・運用開始
- 10月 第1回「郷まつり」開催
- 11月 古城まつり総踊り参加
- 1月 第1回フットバス開催
- 2月 箫笛コンサートを開催
- 3月 古道マップパンフレットを作成
- 4月 竹田川遊歩道「キラキラせせらぎロード」整備・案内看板設置

■平成20年（2008年）

- 6月 あんしんマップ作り
- 8月 カブトムシ・クワガタの里づくり整備
- 9月 ふるさと講座
- 10月 エコキャップ運動開始
- 11月 深沙大王立像「祠」完成
- 12月 広報紙コンクール「のうねの郷」優秀賞受賞

■平成21年（2009年）

- 5月 長歛地区の歴史資料集「調べてみようのうねの郷」完成
- 6月 カブトムシ・クワガタ床拡張
- 7月 街角ウォッチング
- 8月 地蔵菩薩堂修繕完成
- 9月 広報紙コンクール「のうねの郷」優秀賞受賞
- 10月 奨励賞受賞

まち協活動年表

まちづくり協議会 10年を振り返って

平成19年～24年



●越前豊原古道散策ツアー「フットパス体験会」 (ふるさと部会)



●カブトムシ・クワガタ床整備 坂井市制3周年記念 桜の苗木を植樹(かんきょう部会)



●のうね健康まつり (ふれあい部会)



- 山城山城跡展望台を製作
古城まつり「五万石パレード」
の出陣に合わせ、狼煙を上げた
(ふるさと部会)



● ホタル観察会



写真・与河区で行われた集落座談会の様子



●長畠地区の歴史資料集 「調べてみよう のうねの郷」



●エコキャンドル作り
長畠小学校4年生親子が作成したキャンドルは郷まつりの第2部で点灯した



●のうねの郷まつり
公民館のサークル活動の発表の場として、ステージ発表や作品展示など郷まつりを盛大に開催

■平成22年（2010年）	
5月	山城山城跡に向かう道の整備、階段・看板・ベンチを新設
9月	AED講習会
10月	フットバスツアー体験会・ガーデントヨハラでは丸岡高校吹奏楽部によるコンサートを開催
■平成23年（2011年）	
2月	郷史編纂委員会発足
3月	カブトムシの里づくり事業で幼虫を守るための屋根を作成
5月	広報紙「のうねの郷」から「Nounen+」に名称を変更 白山神社跡修復
■平成24年（2012年）	
2月	市制5周年記念として、味岡山付近に桜の苗木を植樹
3月	紀要「のうねの郷誌」第1号を発行
7月	集落座談会（坪江区）
10月	古城まつり「5万石パレード」の出陣に合わせ、山城山城跡展望台から狼煙を上げる
11月	集落座談会（女形谷区） 集落座談会（川上区）



●のうねの郷 ふるさとウォーキング
～女形谷の桜を見に行こう～
春の陽気に包まれながら史跡めぐり
と自然を楽しむ(4月上旬)



●三世代交流事業 囲碁教室
毎月第2・4土曜日には子どもから年配の方まで幅広い年齢層が集まり、囲碁を楽しむ
(会員募集中!)



●城東グラウンド横に花壇を設置
(かんきょう部会)



●2018 福井国体看板の設置・除草
作業



●広報紙『Noune+(ぶらす)』
まち協の活動や地区内のニュース・
イベント・人物を紹介
長畠地区に全戸配布(年4回発行)



●丸岡城北側にイルミネーションを設置し、古城まつり盛りあ
げに協力



●冬季限定 味岡山イルミネーション
設置・点灯(かんきょう部会)



●古城まつり総踊り参加



●『のうね郷誌』発行
平成24年に発足したのうね郷誌編纂委
員会によって編集された第1~6号、別
冊古文書・長畠日向神楽の計8冊を発行



●のうねシルバーフェスタ
&郷まつり
地区敬老会と郷まつりを合同で開催し、第2部では総踊り・
打上げ花火が行われている



■平成27年（2015年）

- 11月 広報紙コンクール「Noune+」優秀賞受賞
- 10月 城東グラウンド横に花壇を設置、
冬季限定で味岡山イルミネーション
設置・点灯
- 6月 避難所運営ゲーム（HUG）を開催
- 3月 紀要「のうね郷誌」第4号発行
- 1月 集落座談会（千田区）

■平成26年（2014年）

- 11月 第1回「のうねシルバーフェスタ
&郷まつり」開催
&冬まつり開催
- 9月 別冊日向神楽を発行
- 3月 紀要「のうね郷誌」第3号・
第1回「のうねシルバーフェスタ
&郷まつり」開催

- 9月 長畠地区地震避難防災訓練開催
- 8月 第1回 味岡山いこいまつり
- 5月 2018年 国体看板の設置
- 3月 紀要「のうね郷誌」第2号発行
- 8月 防災ワークショップ開催

■平成25年（2013年）

- 1月 集落座談会（里丸岡区）
- 広報紙コンクール「Noune+」
優秀賞受賞

まち協活動年表

平成25年～29年



●避難所運営ゲーム（HUG）



●市制10周年記念
「おもてなしベンチ」を古城下に設置
(丸岡地区まちづくり協議会連絡会)

活動を振り返って



のうねの郷づくり推進協議会
前会長 水崎 亮博

平成23年から27年までの4年間、会長を含めて10年の間、のうね郷協に関わらせていただきました。のうねの郷づくり推進協議会の立ち上げの際に、区長会、婦人会、体育協会、小学校PTA、防犯隊など地域のすべての団体を傘下に収めた強力な組織を作り上げ、地域住民の実直で真面目な気風もあって、坂井市内では最も力のある地域協議会になりました。

の中でも特に区長会の役割は大きかったと思います。豊原史跡保存活動（化生ヶ岳の深蛇大王祀の建設）や、総合防災訓練、のうね健康まつりなど地域住民参加の活動が展開されました。

また、味岡山の整備や高速道路わきの国体看板作りなども思い出深い活動の一つです。



のうねの郷づくり推進協議会
初代会長 上田 清治

当時長畠地区的区長会長をさせていただいた時のことですが、突然まちづくり協議会を立ち上げほしいと言われました。まちづくり協議会とは何のことかもわかりませんでしたが、当時の役員たちが連日集まり長畠地区の良いところ・直したいところなどをワークショップを通して話し合い、すばらしい長畠地域づくりをめざし立ち上げました。

こうした皆さん方の力のおかげで坂井市で2番目のまちづくり協議会の発足となりました。発足当時は5つの部会を作り、部会ごとに年間計画を立て、地域の人たちの応援も得ていろいろな活動を活発に行うことができました。



のうねの郷づくり推進協議会
会長代理 上杉 秋良

発足前年より準備委員会を起ちあげ、何度も会議を開き、他県の協議会への視察、意見交換会、そして発足後は郷まつり、花火大会、ラジオ体操の会、健康ウォーキング、豊原・味岡山・竹田川環境整備、のうね郷誌編纂、三世代交流、毎週木曜日に行ってい地域パトロールの実施、あんしんマップの作成、広報誌の発刊、地元企業への協力金の依頼など、各部会の事業計画に沿って会員及び各団体の皆さまの協力をいただきながら運営をしてまいりました。

今後は次の10年を見据えて「のうね郷協 安心で安全なまちづくり」を住民一体となって協力支えあい、地域力の向上を目指したいと考えます。



1月	集落座談会（長畠地区）
3月	紀要「のうね郷誌」別冊古文書発行 「のうね郷誌」第5号・ 第1回のうねの郷ふるさとウォーキング開催
4月	市制10周年記念として丸岡地区まちづくり協議会連絡会で古城下に「おもてなしベンチ」を設置
9月	広報紙「ンクール Nounen+」優良賞受賞
10月	平成29年（2017年）
1月	集落座談会（長畠地区）
3月	紀要「のうね郷誌」第6号発行
4月	「のうね郷誌」別冊古文書発行 「のうね郷誌」第5号・ 第1回のうねの郷ふるさとウォーキング開催
9月	市制10周年記念として丸岡地区まちづくり協議会連絡会で古城下に「おもてなしベンチ」を設置
10月	広報紙「ンクール Nounen+」優良賞受賞
1月	集落座談会（長畠地区）
3月	紀要「のうね郷誌」第6号発行
4月	「のうね郷誌」別冊古文書発行 「のうね郷誌」第5号・ 第1回のうねの郷ふるさとウォーキング開催
9月	市制10周年記念として丸岡地区まちづくり協議会連絡会で古城下に「おもてなしベンチ」を設置
10月	広報紙「ンクール Nounen+」優良賞受賞
1月	集落座談会（長畠地区）
3月	紀要「のうね郷誌」第6号発行
4月	「のうね郷誌」別冊古文書発行 「のうね郷誌」第5号・ 第1回のうねの郷ふるさとウォーキング開催
9月	市制10周年記念として丸岡地区まちづくり協議会連絡会で古城下に「おもてなしベンチ」を設置
10月	広報紙「ンクール Nounen+」優良賞受賞



児童の交通安全を願い設置

長畠小学校のうねっ子見守り隊は、11月27日（月）児童の安全を守るため、交通安全を呼びかける立看板と横断幕を設置しました。通学路の交通安全は以前から懸念される場所もあり、小学校西側のスクールゾーン指定は難しく、指定を受ける当分の間は運転者のマナー向上のため、視覚に訴える施策を推進し警鐘を促すことを目的に設置したものです。設置場所は、長畠小学校西側通学路の南北端の交差点付近に立看板2枚、長畠小学校および城東グラウンドフェンスに横断幕2枚、のうねの郷コミュニティセンター駐車場内支柱に横断幕2枚の計6枚です。（文：あんしん・ふくし部会）



長畠地区区長会総会開催

長畠地区区長会総会が2月17日（土）のうねの郷コミュニティセンターで開催され、区長30名来賓4名が出席しました。平成30年度事業計画案・収支予算案について審議され、満場一致で可決されました。また、のうねの郷づくり推進協議会への協力と地区要望書の提出等について話し合われ、本年度の区長会も本格的に始動しました。

今年は2月の記録的な雪害を受け、総会終了後の懇親会は自粛されましたが、区長同士の親睦と情報交換の場として有意義な総会を終えることができました。

下校時の黄色手持ち旗贈呈

長畠地区青少年育成会議は、長畠小学校の協力を得て各地区的学童代表に対し、交通安全用の黄色手持ち旗60本を1月9日（火）に贈呈しました。同旗の贈呈に至った経緯は、同校から手持ち旗の老朽化や破損情報が寄せられており、旗の新調が懸案事項となっていました。贈呈は長畠小学校PTA会長、のうねの郷づくり推進協議会会长、のうねの郷コミュニティセンター長から手渡され、学童からは感謝の意が寄せられました。（文：あんしん・ふくし部会）

平成30年度 長畠地区区長会役員	
会長	辻川 充伴（内田区）
第1ブロック長	前川 謙市（坪江区）
第2ブロック長	藤澤 真二（下長畠区）
第3ブロック長	土肥 敬三（城北4区）
第4ブロック長	谷川 勝治（曾々木区）
第5ブロック長	佐々木あゆみ（愛宕区）



歴史の場所を歩く⑯ 女形谷の空は晴れて 第13回 植樹祭の跡地

今から55年前の昭和37年4月に女形谷で盛大に植樹祭が開催された。会場になつたのは高速道路の向う側の丘陵山地で女形谷サービスエリアの東側あたりである。この辺は高速道路ができる前は今霞ヶ丘学園辺りから緩やかな斜面になつていた。戦時中は開墾して果樹園になつていて、ことある。また昭和の初めころはスキー場として丸岡女学校の生徒たちがスキーを楽しんだという。そうし



た歴史を知つていろ
人は少なくなつてしま
た。

製の歌碑も変体仮名で書かれているので、判読しにくい。ひとつとした松林である。植樹祭の式典がこの場所で1万人大人が参加して盛大に開催されたとはとても想像がつかない。今の霞ヶ丘学園の辺りが駐車場でそこから上が扇状の広い敷地になつていて、その扇のかなめの最上部が両陛下のお立ち台になつていた。駐車場には大型バスが何十台も並んでいる写真がある。扇状の広場の一一番奥のかなめのところにお立ち台があつて、ここに一番奥に下はここでアカマツを植えられた。現在も柵に囲まれた中にアカマツがある。この頃

は造林運動が盛んで
特にマツやスギが全
国的に植樹された。
松が大切にされた証
拠として全国植樹祭
の際の樹種の大半は
マツである。現在は
マツクaimシのため
造林された全国の松
はほとんど枯れてし
まつたし、またスギ
も花粉症の原因とし
て厄介者になつてい
るのは皮肉な現象で
ある。(女形谷に最
初に植えられたマツ
も枯れてしまつたの
で現在あるのは2代
目のマツである)



(文責・水崎亮博)

は造林運動が盛んで特にマツやスギが全国的に植樹された。松が大切にされた証拠として全国植樹祭の際の樹種の大半はマツである。現在はマツクaimシのため造林された全国の松はほとんど枯れてしまつたし、またスギも花粉症の原因として厄介者になつてゐる。(女形谷に最初に植えられたマツも枯れてしまつたので現在あるのは2代目のマツである)

のうねの郷コミュニティセンター 耐震改修工事始まります!

のうねの郷コミュニティセンターは耐震改修工事のため、下記の期間は休館いたします。

その間、『のうねの郷第2コミュニティセンター』が活動拠点の場所となります。

利用者の方々にはご不便をお掛けすることになりますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

また、工事期間中は敷地内への出入りはできませんのでよろしくお願ひいたします。

休館期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日（予定）

【耐震改修工事期間：平成30年6月～平成31年3月頃まで】



のうねの郷第2コミュニティセンター
丸岡町坪江 11-36 電話 66-0493



のうねの郷づくり推進協議会の オリジナルキャラクター完成！！



仁愛女子短期大学の学生とまち協が協力して制作した
オリジナルキャラクターが、遂に完成しました。
のうねのキャラクターは、愛称“さとちゃん”♪
今後の地区PRに活用されます。

▶ 昨年12月に発表された坂井市
13地区のまち協キャラクター



編集後記

▼ 年が明け降るわ降るわで背丈越え
朝昼問わず雪を搔く。なかなかいい匂
となりました。皆様にも年齢・男女を
問わず雪かきの重労働大変でした。こ
れはもう笑うしかない。
気象台の積雪記録では、1月7日か
ら連続57日間続きました。過去38豪雪
では80日間、56豪雪では99日間の積雪
記録があるそうです。雪だけではなく、
地震・台風と近年天災が多く、日頃か
ら備えをお忘れなく。（H）

これから予定

参加してくださいね～
待ってるよ～

4月1日（日）のうねの郷ふるさとウォーキング

4月22日（日）10時～21時

“ありがとう長畠公民館”（お別れイベント開催）
のうねの郷づくり推進協議会総会

【会場】：のうねの郷コミュニティセンター

6月3日（日）第20回のうね健康まつり

“ありがとう
長畠公民館”
の詳細は、4月に
発行するチラシをご覧ください